



## 学校教育目標

- 〔知〕 進んでできる子・考える子
- 〔徳〕 心豊かな子
- 〔体〕 たくましい子



## 百聞は一見に如かず ～体験に勝るものなし～

校長 佐藤 貴広

「『百聞は一見に如かず』という言葉を知っていますか？」社会科見学出発を前に、ワクワクが止まらない様子の子供たちに聞いてみました。手が挙がった児童は数人でした。日ごろ、あまり聞かない言葉なのでしょう。今はスマホ等で易々と様々な「画像」や「映像」を見ることが出来ます。「百聞」する前に、「一见」できてしまう、そんな時代なのかもしれません。しかしながら、自分の五感を用いて実物を感じとることは、物事を知り、理解するうえで大切なことです。オンラインでの社会科見学など新たな学びの在り方も可能となりましたが、物事を現実と感じとる体験に勝るものはないのではないのでしょうか。フェイクニュースに象徴される虚偽の画像や映像、ニュース記事、あるいは身近な人からの伝聞などについても、その真偽を冷静かつ慎重に見極める力もますます必要な時代になっています。

11月は、1・2年生が生活科の校外学習で埼玉県こども動物自然公園に、3年生が社会科見学で樹里安やイナパークなどの市内巡りを、4年生が社会科見学で川越の蔵造りや埼玉古墳群、利根大堰へ、そして6年生が日光方面に修学旅行と、多くの学年で校外学習を行いました。校外学習について、学習指導要領には大きく2つの学ぶ価値が示されています。1つは、校外の豊かな自然や文化に触れる体験を通して、学校における学習活動を充実させることができる、という価値。もう1つは、校外における集団活動を通して、教員と児童、児童相互の人的な触れ合いを深め、楽しい思い出をつくることのできる、という価値です。どの学年もこの2つの価値に迫ることができました。バスに乗り込む子供たちの笑顔、見学しているときの輝く瞳、足取り軽くハイキングする姿、係の役目をやり通す姿勢、笑顔で語り合う教員と子供たち、などなど。1・2年生では、こども動物自然公園で学年混合での班行動を行いました。複数の学年で校外学習ができる、本校ならではの取り組みです。2年生が1年生のために出入り口を支えてあげたり、水分補給の時間を作ってあげたりするなど優しくリードする様子が随所に見られました。他学年と一緒に活動する体験を通して、どちらの学年の児童も良い思い出をつくることのできたと思います。

今月は、5日に持久走大会を行う予定です。本校の持久走は、5分間でどれだけの距離を走りきることができるかを計測します。この持久走大会の目標は、児童が自分自身にどれだけ挑戦できるかです。目的は、走るという体験を通して、心身を鍛えることです。学校教育目標の「たくましい子」の具現化の一つとして実施します。保護者の皆様には、子供たちが自分自身に挑戦している姿をぜひ応援し、我が子の頑張りを最大限に褒めていただければと思います。

今年も残すところあとわずかとなりました。保護者、地域の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り深く感謝しております。大変お世話になりました。少し早いですが、皆様、よいお年をお迎えください。